

「県道三田西インター線バイパス」の整備効果 ～地域の皆様に多く利用いただき、利便性と安全性の向上に貢献しています～

救命救急活動に利用



バイパス
開通

- ・ 幹線道路ネットワークが完成
(国道176号と舞鶴若狭自動車道三田西ICが直結)
- ・ 安全で円滑な交通の実現
(JR福知山線との立体交差)

JRとの立体交差

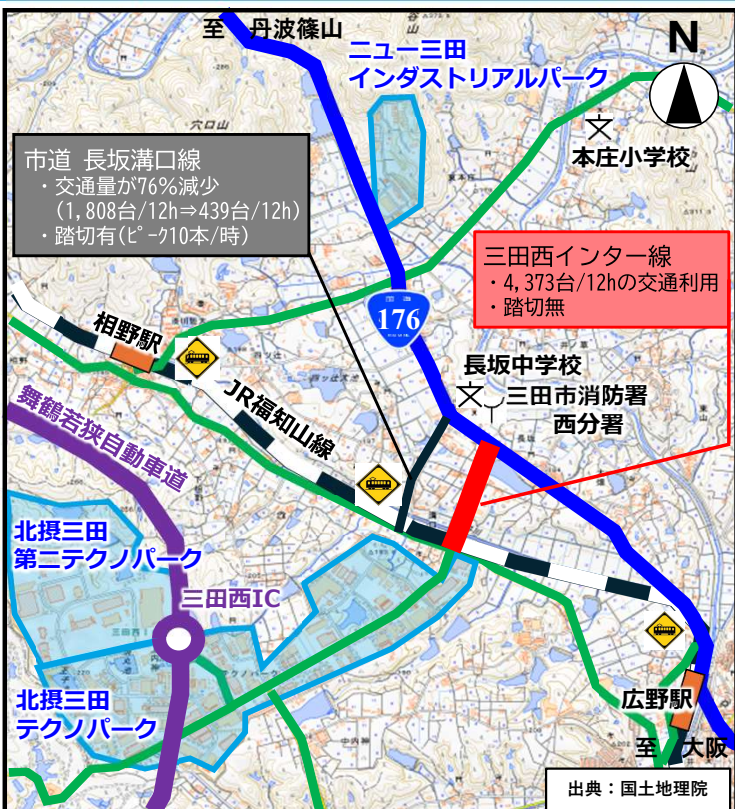


整備
効果

- ① アクセス時間の短縮
(三田西ICやテクノパーク沿線事業所へのアクセス向上)
- ② 命と安全を守る道
(救命救急体制の強化、通学路・生活道路の安全確保)



バイパスの整備効果 【地域の皆様に聞く】



時間短縮

沿線の
事業所



丹波篠山・大阪方面からの車での通勤が便利になり5分程度時間短縮された。

命と安全

三田市
消防署
西分署



今までは南方面への出動には必ず踏切を通過する必要があったが、踏切を回避できることで時間は短縮した。

周辺の
小学校
中学校



市道長坂溝口線の大型車が減り安全になったと感じている。県道三田西インター線には歩道があるので安全性が向上し通学路として利用するようになった。